

女性の目からみる農林水産業と食料消費

食農ビジネス学科

そえじま くみ
准教授 副島 久実 (農水産物・食品マーケティング研究室)
E-mail kumi.soejima@setsunan.ac.jp

キーワード 働く女性 農山漁村女性起業 消費者ニーズ
持続可能な農林水産業



研究概要

背景

- これから確実にますます働く女性の割合は増えていきます。
- ライフスタイルやお金の使い方が変化し、手間暇かけて調理する時間はないけれど、新鮮で、まともで、美味しいものが食べたい。作る時間よりも家族と一緒に食べる時間を大切にしたい等の、家事の省力化や外部化における新たなニーズが生じています。

目的

- このように新しく生まれる消費者ニーズに対し、農林水産業界はどのように応えていくのでしょうか？
- こうした新しい動きに関する調査・研究を進め、持続可能な農林水産業と豊かな食生活を送れるような社会の構築へ寄与していくことを目指します。

主な成果

- おいしくて、簡単便利で、しかも、まともなもの。こうした今の働く女性に求められる商品の一つとして、農山漁村女性起業グループの商品があります。
- もともと多くのグループが「地元の原料」「無添加」などのこだわりをもった商品をつくっています。
- 加えて、最近の簡単便利志向にも応えようとする商品も増えています。
- 彼女たちのビジネスのあり方やマーケティング方法について一緒に検討してきました。

連携への展望

【農林水産業・食品産業・流通業・小売業との連携】働く女性の食料に対するニーズを把握し、それらに対し、農林水産業界や食品産業界や流通・小売業界がどのように応えていくか。現場の状況と調査研究の結果を相互に情報共有しながら一緒に考えていきたいと思っています。

【農山漁村女性起業との連携】農山漁村女性起業と連携しながら、より良い起業のあり方の検討や地域の振興に寄与していきたいと思っています。

【科学コミュニケーション】研究成果について広く社会還元していきたいです。



写真提供：愛媛県内子町の谷岡真衣さん（農家女性）。谷岡さんによる「地元野菜のオリーブオイル漬け」と野菜セット。「気軽に多種類の野菜を一度に食べられ、包丁いらず。手間を省いてワンランクアップの味に仕上げられる」と商品開発されたもの。「ぷらいまーりい」という農業女子グループが活動のきっかけになった。



アピールポイント

女性の視点からの調査研究を進め、その知見を現場の皆さんと共有していくことで、持続可能な農林水産業と消費のあり方を検討・提案していきます。